

加須市スポーツ施設整備計画の素案について

1 計画策定の背景と目的

本市のスポーツ施設の状況は、1市3町の合併以前に、それぞれが所有していた施設を引き継いでおり、多くの類似施設を有しています。

本市が所有するスポーツ施設は屋内外に40施設、そのうち設置から30年以上経過した施設が75%と老朽化が進行しています。

また、全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、本市の人口も減少傾向であり、将来的には人口10万人を下回る予測で、生産年齢人口の減少等により、公共施設の維持管理にかけられる費用は大きく減少することが予想されます。

このような状況を踏まえ、老朽化の進行や利用状況、将来の財政の見通し、市民ニーズ等様々な面を検証し、今後のスポーツ施設の在り方を検討し、市民の主体的な健康・スポーツ活動を支える環境を整備するための基本的な方針として本計画を策定するものです。

2 計画期間

本計画の計画期間は、令和8年度からの20年間

3 計画の構成

本計画の構成は以下の通りです。

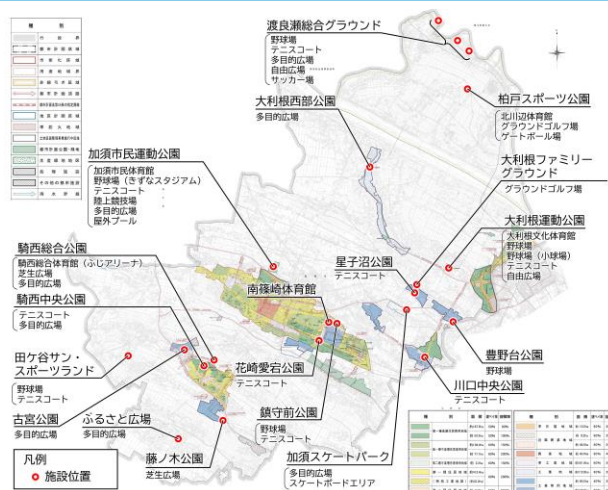
章	内 容
第1章 計画の概要	・ 背景と目的 ・ 本計画の位置づけ ・ 計画期間 ・ 対象施設
第2章 スポーツ施設の現状と課題	・ スポーツ活動を取り巻く社会環境 ・ スポーツ施設の現状 ・ 市民意向調査 ・ 再整備にあたっての課題
第3章 スポーツ施設再配置・再整備基本方針	・ 基本方針 ・ 再配置・再整備方針

4 対象施設

本計画の対象施設は、右図の40施設です。

体育館

名 称	開設年
加須市民体育館	昭和50年
南篠崎体育館	昭和56年
騎西総合体育館	平成11年
北川辺体育館	昭和53年
大利根文化体育館	昭和55年



5 計画策定に当たっての課題

本市のスポーツ施設を取り巻く課題は以下の8点が挙げられます。

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| (1) 利用者数及び年齢構成の変化 | (2) 類似施設の複数配置 | (3) 老朽化施設の維持管理 |
| (4) 施設の質・機能向上 | (5) 身近な施設環境の確保 | (6) 利用者ニーズの変化 |
| (7) 災害時の避難場所等の確保 | (8) 維持管理経費の増加 | |

6 基本方針（案）

方針1：施設の利用特性に応じた整備

- 将来の利用者数及び年齢構成を踏まえ、利用者ニーズの変容に対応した施設の機能、量の最適化を検討します。
- 老朽化状況に応じて、修繕や改修、維持管理を適切に行い、長寿命化を図るほか、複数配置する類似施設は、将来の需要、利用特性に基づき分類し、再配置を検討します。

【想定される主な検討事項】

- ◎施設の適切な維持管理、長寿命化に向けた修繕、改修
- ◎既存施設の再配置・再整備
- ◎類似施設の集約

方針2：誰もが快適に利用できる機能整備

- 誰もがスポーツに親しみ、いつでも楽しめる場の充実を図るため、適切に維持管理するとともに、施設の整備、改修を検討します。
- 必要に応じた修繕や改修、適切な維持管理のほか、各地域に配置する公園の活用を推進します。
- ライフスタイルや多様化するニーズに対して、必要に応じた新たな競技の場の整備を検討します。

【想定される主な検討事項】

- ◎暑さ対策等に対応できる施設整備
- ◎新たなスポーツ需要に対応した施設整備
- ◎スポーツ施設の持続可能な施設整備

方針3：安全・安心な施設環境の整備

- 利用者の安全を最優先に老朽化状況を踏まえた適切な維持管理とともに、災害時の避難場所指定施設にあっては、防災拠点の視点をもった機能整備、改修を検討します。

【想定される主な検討事項】

- ◎適切な維持管理、長寿命化に向けた修繕、改修
- ◎災害時の避難場所としての機能を備えたLED化への改修

方針4：効率的・効果的な運営

- 将来の利用者数及び年齢構成を踏まえ、類似施設を分類し、施設の再配置、再整備や改修を検討します。
- 新たな収入の確保や維持管理運営方法を検討します。

【想定される主な検討事項】

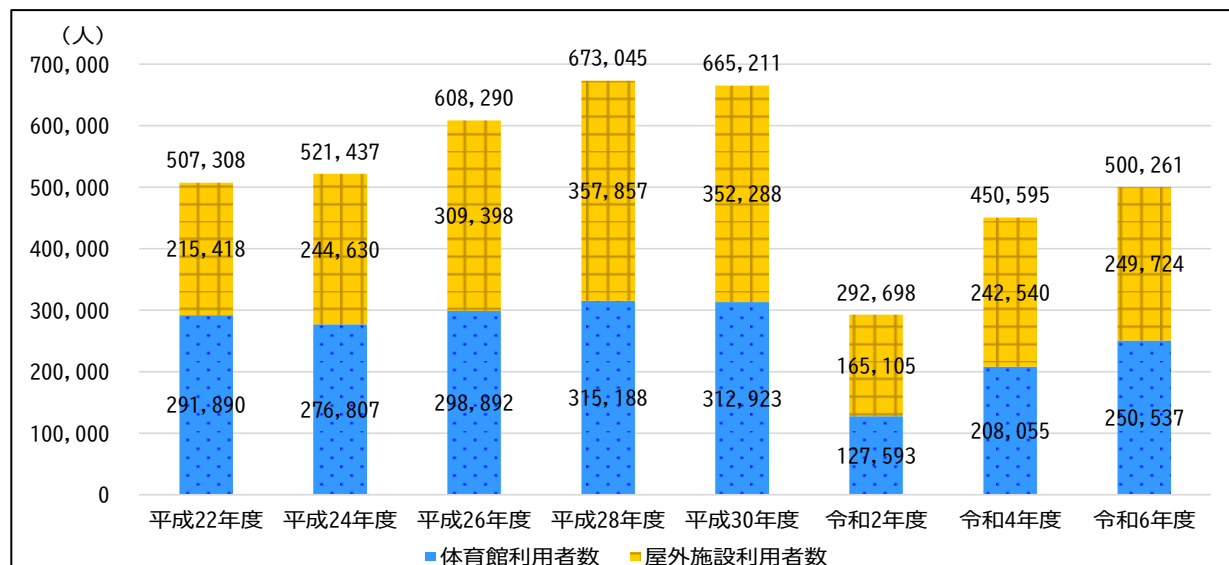
- ◎新たな収入確保（広告、ネーミングライツ等）
- ◎既存施設の再配置・再整備
- ◎既存施設や新設整備の際の公民連携（PPP・PFI）

7 今後のスケジュール

10月	11月	12月	1月	2月	3月
	スポーツ推進審議会の開催	パブリックコメントの実施	庁内会議の開催	スポーツ推進審議会の開催	計画策定
		スポーツ団体等への説明			

8 スポーツ施設利用者数（体育館・屋外施設）の推移

スポーツ施設利用者数は、コロナ禍の令和2年度に大きく減少し、その後、増加傾向にあるものの、平成22年度の水準にも達しない状況であり、令和6年度の利用者数は50万人程度となっています。



9 スポーツ施設の稼働率

体育館

施設名	室	平日			休日			備考
		午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
加須市民体育館	アリーナ	24.0%	23.7%	32.8%	67.5%	64.6%	49.2%	
	クライミングウォール	16.3%	10.6%	28.4%	10.5%	10.9%	7.6%	
	卓球室	47.9%	34.8%	32.9%	47.9%	46.6%	20.5%	
	剣道場	24.4%	11.4%	39.4%	53.0%	31.1%	24.7%	
	柔道場	9.2%	7.0%	41.7%	62.4%	33.2%	29.7%	
	研修室	12.3%	11.9%	21.0%	28.2%	24.8%	24.8%	
	多目的室	19.5%	21.1%	24.5%	25.5%	24.6%	14.9%	
南篠崎体育館	アリーナ	41.6%	38.7%	73.9%	79.2%	83.5%	77.4%	
	クライミングウォール	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.0%	
騎西総合体育館	卓球台	5.2%	1.7%	0.1%	14.8%	5.2%	0.1%	
	サブアリーナ	30.8%	20.3%	43.7%	73.1%	67.6%	55.0%	
	多目的室（武道場）	14.5%	4.7%	45.7%	58.5%	47.1%	29.7%	
	会議室	3.6%	3.4%	3.6%	39.2%	35.3%	13.1%	
北川辺体育館	メインアリーナ	25.6%	24.4%	36.5%	74.1%	70.9%	43.1%	
	アリーナ	32.2%	42.4%	67.7%	78.6%	81.6%	76.8%	
大利根文化体育館	アリーナ	37.5%	34.7%	53.0%	67.8%	70.8%	62.0%	
	格技室	11.9%	3.0%	62.6%	46.2%	25.6%	25.3%	
	集会室	16.0%	10.2%	6.0%	43.6%	34.2%	12.3%	

※午前9:00～12:00 午後12:00～17:00 夜間17:00～22:00

10 市民意向調査

調査分類	調査対象者	配布数	調査方法	期間	回答数	回収率
市民	18 歳以上	1,000	配布は郵送、回収は郵送またはインターネット回答	11 月 25 日 ～12 月 16 日	341	34.1%

体育館利用に関する傾向

すべての体育館（5 館）において、「利用していない」との回答が全体の 80%以上となっており、全体を通して市民の利用は少ないことがわかります。

運動やスポーツをしている種目

「ウォーキング」が 56.9%と最も多く、次いで「体操（ストレッチ、ラジオ体操が 25.5%、「ジョギング」が 14.9%、「ゴルフ、グラウンド・ゴルフ」が 11.7%、「テニス、ソフトテニス」が 6.4%となっており、1 人でできる運動が上位になっています。

今後やってみたい運動やスポーツの種目

「ウォーキング」が 38.6%と最も多く、次いで「特にない」が 28.1%、「体操（ストレッチ、ラジオ体操）」が 13.7%、「水泳」が 9.8%、「ジョギング」が 9.2%となっており、1 人でできる運動が上位のほか、「特にない」が多いことがわかります。

11 再配置・整備方針

体育館

- 現状の 5 館は、短期的に 3 館（南篠崎体育館、騎西総合体育館、大利根文化体育館）、長期的には 1 館（騎西総合体育館）とし、騎西総合体育館を屋内競技の拠点施設とする統廃合を検討します。
- 加須市地域防災計画における災害時避難場所指定施設の位置付け等、防災対策の視点も考慮し検討します。

12 再配置・整備スケジュール

施設名	分類	地域	設置年	短期（10年以内）	長期（11年～20年）	今後の方針
加須市民体育館	体育館	加須	1975	廃止	屋外スポーツ施設の新設	加須市民運動公園の再整備に併せて屋外競技種目の拠点施設として整備
南篠崎体育館	体育館	加須	1981	維持	廃止	
騎西総合体育館	体育館	騎西	1999	改修	維持	屋内競技種目の拠点
北川辺体育館	体育館	北川辺	1978	廃止	既存屋外スポーツ施設との複合化	多目的広場への転用
大利根文化体育館	体育館	大利根	1980	維持	廃止 既存屋外スポーツ施設との複合化	多目的広場への転用

(1) 加須市民運動公園の再編後のイメージ




(案1)

陸上競技場

各種競技種目の適正な記録が得られる競技場を整備
施設の方位は、長軸南北を原則

- ・トラックは一周 400m
- ・走路は全天候舗装
- ・インフィールドはサッカー、ラグビー等多目的利用



野球場

テニスコート

硬式・軟式の両用可能な規格
コート間は公式試合が開催可能な間隔
施設の方位は、長軸南北を原則

- ・砂入り人工芝舗装
- ・競技用 6 面
- ・練習コート 1 面
- ・休憩用のシェルター、ベンチを配置

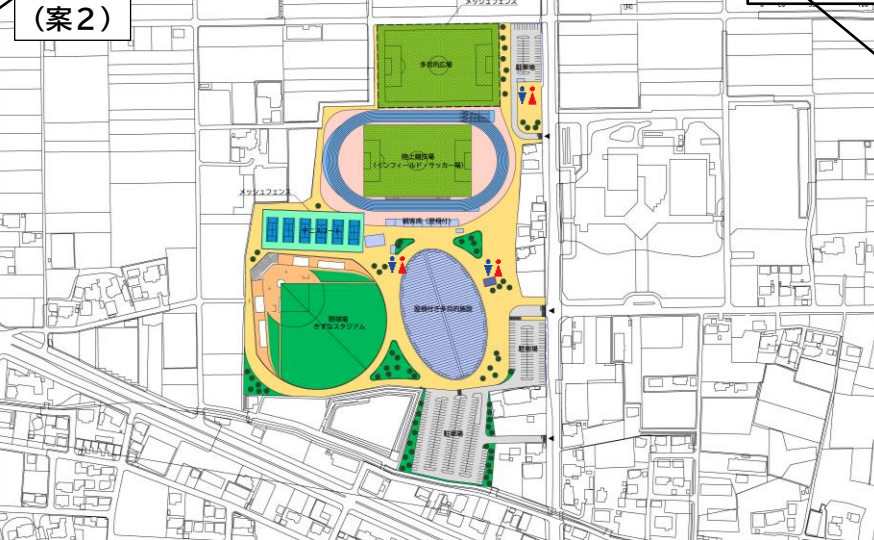
スポーツクライミング場

クライミング 3 種目の国際大会が開催可能

- ・ボルダリング競技場 (高さ 5m)
- ・リード競技場 (高さ 15m)
- ・スピード競技場 (高さ 16m)



(案2)



外構計画 (公園全体)

- ・駐車場はスポーツ施設の全体配置を考慮して、3箇所に分散して配置し、駐車場出入口は、進出入の安全性に配慮して、既存交差点と連動するように整備
- ・園路は駐車場から各スポーツ施設へのアプローチを容易にするため、明快な動線を構築
- ・各スポーツ施設や緑地の維持管理が容易に行えるよう、利用者動線と兼用の管理車輛動線を確保
- ・大会時の参加団体・チームの離合集散のため、公園中央付近に緑陰を伴うエントランス広場を整備

母と子の広場

賑わい要素としてエントランス広場に隣接して配置
遊具等を一団の区域に配置
屋外種目用ドーム施設の交流プラザと近接して配置

- ・じゃぶじゃぶ池 (例)
- ・日射対策の高木やシェルター (例)


屋根付き多目的施設 (全天候型多目的広場)

雨天時でも屋外スポーツが実施可能なグラウンド
交流プラザ (トイレ、ロッカー、倉庫、飲食スペース) を併設

- ・グラウンド 70m×70m
- ・天井高さ 10～15m程度
- ・人工芝、起伏無し
- ・照明、放送設備あり



(案3)



加須市民運動公園の再編後のイメージ

(2) 騎西総合体育館の再編後のイメージ



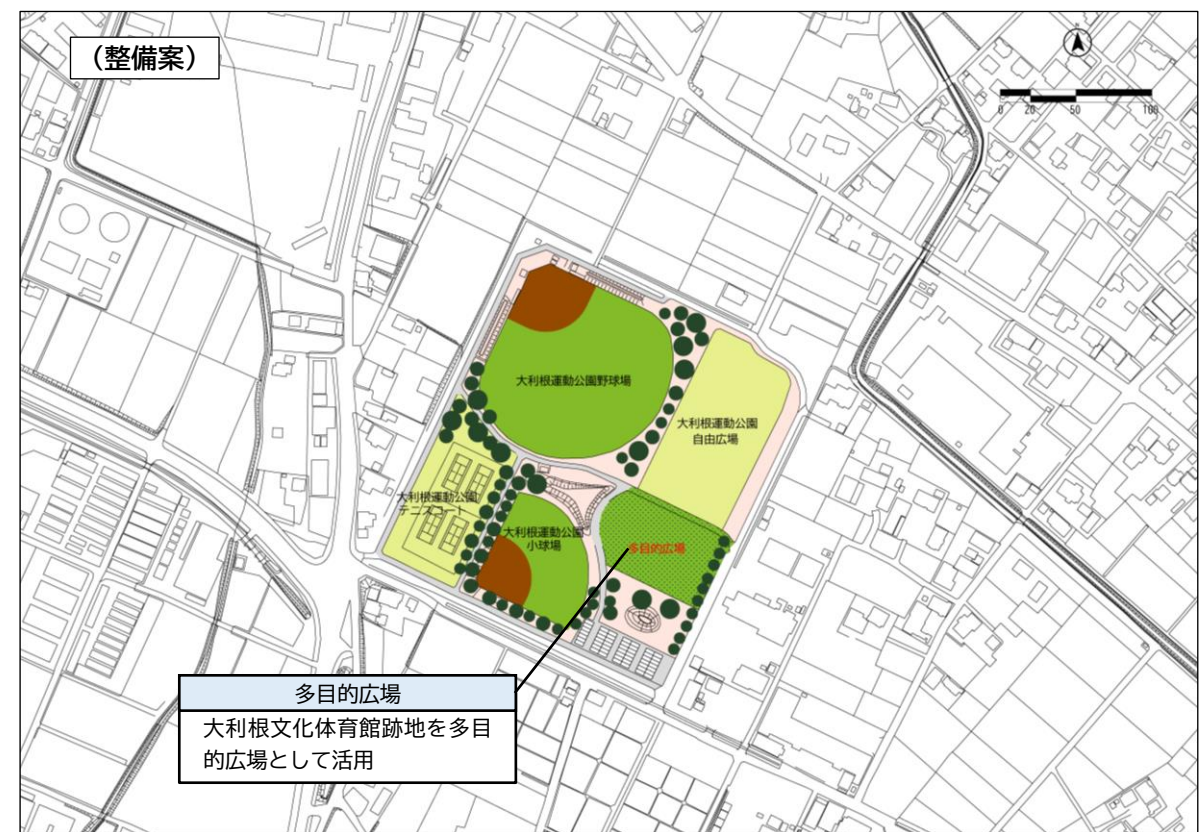
騎西総合体育館の再編後のイメージ

(3) 北川辺体育館の再編後のイメージ



北川辺体育館の再編後のイメージ

(4) 大利根文化体育館の再編後のイメージ



大利根文化体育館の再編後のイメー